

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

847

保育所給食献立管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	2	健やかな体を育む教育の推進
取組方針	3	食育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童保育費		
	大事業	児童保育事業		
中事業	保育所給食献立管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保育こども園課	橋崎敬之 435-1064
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 保育所給食の栄養管理をO A化し、児童の健康管理、心身発達、衛生面等の改善を図る。			全体事業概要 保育所入所児童の給食管理は、心身の発達等において不可欠なものであり、適切な管理を行うことにより、児童福祉の向上を図る。		
	事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
児童の栄養管理（公私立保育所への毎月の給食献立）		給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	給食献立作成、給食だより、給食日誌、栄養日報、栄養摂取量等の配布及び菓子等一括購入管理	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	40	40	40	40	40	40	41	0	41	0
伸び率（%）	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,835	3,430	3,597	3,597	3,464	3,625	3,544	0	3,544
	正規職員以外	325	849	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,160	4,279	3,597	3,597	3,464	3,625	3,544	0	3,544
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	40	40	40	40	40	40	41	0	41	0
所要人数（人）	正規職員	0.23	0.43	0.45	0.45	0.43	0.45	0.44	0.00	0.44
	正規職員以外	0.13	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料 40千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	献立作成日数	日	285	283	284	283	283
			285	283	281		
			100%	100%	98.9%	%	%
活動指標	給食だより作成月数	月	12	12	12	12	12
			12	12	12		
			100%	100%	100%	%	%
成果指標	給食日誌、献立等配布保育所（園）数	所（園）	57	62	63	60	60
			57	62	62		
			100%	100%	98.4%	%	%
成果指標			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	食育活動の充実、食への安全性、アレルギー対応など課題は多い。栄養管理ソフトの購入によりコストダウンを図っている。
見直し・改善内容	食育活動の充実、食への安全性、アレルギー対応などに取り組んでいく。